

2018春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

No. 58

2018年3月14日

日本鉄道労働組合連合会

JREユニオン 第2回団体交渉

# 要求に対する満額回答を強く求める

～会社はベースアップの実施について慎重な態度に終始～

JREユニオンは3月9日、第2回団体交渉を行い、賃金引き上げ等について協議した。

交渉で組合は、今冬は雪害対応で多くの社員が奮闘したことや第3四半期の業績等を踏まえ、純ベア3,000円の満額回答を強く会社に求めるとともに、新賃金については、毎年の労使協議を通じて決定していくことの重要性を改めて訴えた。また、近未来的には、賃金制度の見直しや在り方を検討していくことの必要性について言及し、会社の考えを質した。

一方会社は、業績が好調に推移しているのは社員の努力であることを認め、謝意を示したものの、成果については、4年連続ベースアップの実施や諸手当・勤務制度の改善等を通じて社員へ還元してきたことや、世間相場等を踏まえると慎重な対応が必要となることから、ベースアップの実施に対しての言及は行わず、慎重な態度に終始した。

JREユニオンは、組合員の頑張りや会社業績を反映させた回答を引き出すべく、取り組みを強化することとしている。